

「専修学校フォーラム2015」 参加者アンケート結果

(平成27年2月9日、10日)

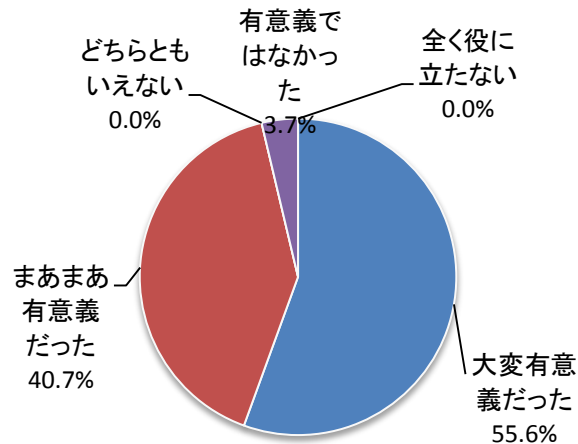
●参加者数: 197名
●回答者数: 36名
●回答率: 18.3%

一般社団法人全国専門学校情報教育協会

問1. 全体会について

1. 基調講演「教育の質保証と第三者評価について」

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	15	55.6%
まあまあ有意義だった	11	40.7%
どちらともいえない	0	0.0%
有意義ではなかった	1	3.7%
全く役に立たない	0	0.0%
計	27	100.0%

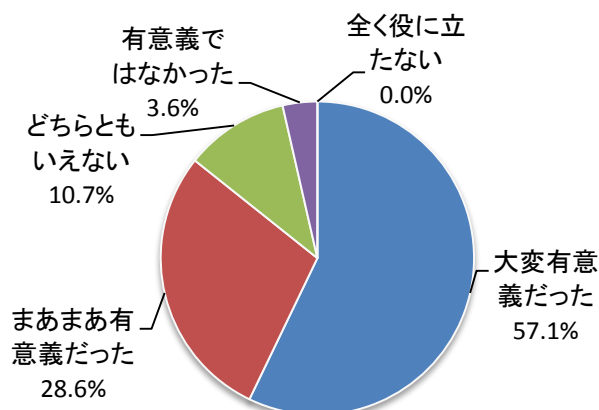


評価の理由:

- ・根本的な原理原則がとてもよく理解できました。大変分かりやすかったです。
- ・アウトカムの評価の方法が難しいということを改めて認識した。
- ・質保証の重要性、そのための評価について理解が深まりました。
- ・質保証について良く理解できた。川口先生の内容は説得力があり大変よかった。
- ・在学中の付加価値について考えることができました。質とは何かを改めて認識できた。
- ・川口先生のお話は知見が深く面白かったです。後半部分が駆け足になり少し残念でした。
- ・以前よりよく理解できた。
- ・総論は資料を読めば理解できます。具体的な内容が少なく期待通りではなかった。
- ・川口先生のご説明は非常に分かりやすかった。
- ・自己評価、学校関係者評価、第三者評価のそれぞれの制度が理解できた。
- ・大学の評価の話であったが、外部評価と第三者評価の違いなど、評価全般の整理ができた。
- ・職業実践専門課程で取り組んだ各内容について、改めて確認することができました。
- ・やや大学を主にした講演のようにも感じられ違和感があった。
- ・教育とは何ができるようになるか、教育の質の保証など専門学校教育の社会的価値を上げる必要性を感じました。
- ・再認識できた。
- ・新規事業について興味を持ちました。
- ・第三者評価について包括的な話を伺うことができた。
- ・教育の質について第三者評価が必要であることがよく分かりました。
- ・本学でも第三者評価をしておりますが、客観的評価の必要性を認識しました。
- ・第三者評価の重要性がよく分かりました。

2. 基調講演「専修学校の教育の質保証について」

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	16	57.1%
まあまあ有意義だった	8	28.6%
どちらともいえない	3	10.7%
有意義ではなかった	1	3.6%
全く役に立たない	0	0.0%
計	28	100.0%

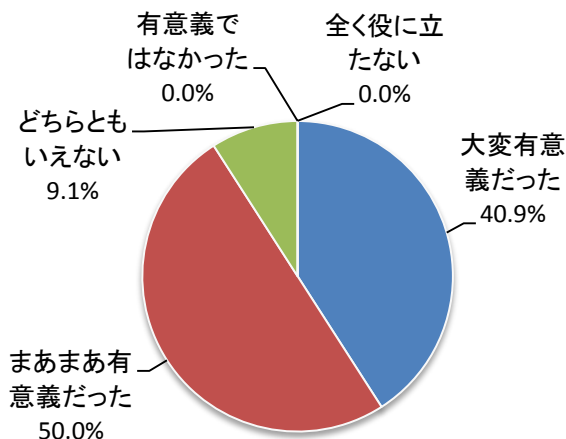


評価の理由:

- ・とても分かりやすかったです。
- ・アウトカムが学生に何を考えるかではなく、学生が何ができるかという点で印象的でした。
- ・評価を自動化しないという点はとても共感できました。
しかし、質保証の重要性が今後の専門学校にとって大切であると感じることができました。
- ・質保証について理解できた。
- ・アウトカムについて考えることができました。
- ・アメリカの例を紹介していただきながら、具体的な取り組みについてお話が伺えたのが大変よかったです。
- ・理解もでき、このように考え前進していかなければと思った。
- ・質保証について特に評価の面で参考になった。
- ・会費を回収するにもかかわらず、具体的な内容ではなく期待はずれでした。
- ・エビデンスの重要性、自己評価の重要性などを分かりやすく説明された。
- ・的確な内容でよく理解することができました。
- ・何が主に伝えたいのかが分かりにくかった。PCDAは良く分かりました。
- ・学習修了者の実力による評価は最重要だと再認識しました。
- ・参考になりました。もう少し具体例があると良いと思いました。
- ・「何を教える」ではなく「何ができるようになるか」という文言が印象に残りました。
- ・質の保証「質」という点について体系だててふかんな視点のお話を伺うことができ大変良かったです。
- ・教育の質保証について考えることができる内容になっており大変勉強になりました。
- ・さらに詳しく知ることができました。

3. パネルディスカッション「教育の質保証と職業教育の方向性」

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	9	40.9%
まあまあ有意義だった	11	50.0%
どちらともいえない	2	9.1%
有意義ではなかった	0	0.0%
全く役に立たない	0	0.0%
計	22	100.0%



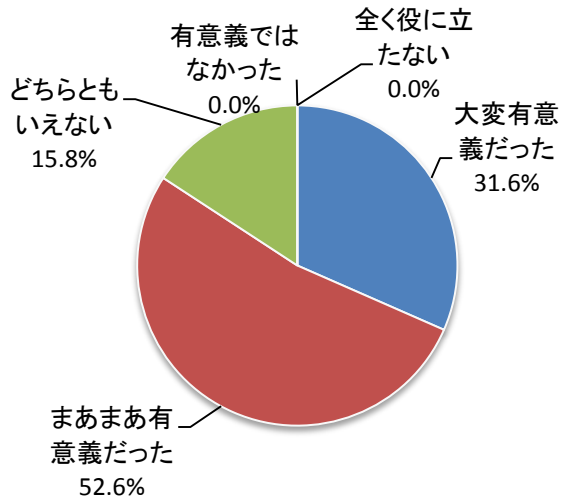
評価の理由:

- ・パネリストの人数がとてもよかった。いろいろな切り口からヒントを得た。
- ・全体を通しての何を教えるではなく、何ができるようになるという共通認識がキーワードとなっていることはとても理解しやすい話でした。
- ・自分の知識が追いつかない点があった。
- ・講演に続いてより質保証について知ることができた(教育の変化の必要性がわかった)。
- ・何を教えるかから学生が何を学校で得て仕事に成果を出すことが重要ということ。
- ・具体的な内容、考え方など知見が深まったので大変勉強になりました。
- ・全ての方どおりに前進できればよいが…
- ・様々な視点からの話題があり時間が不足した。
- ・アウトカムの基準はどう理解するか？質の保証の最低要件、学修正解は社会的に求められている。社会的なニーズは職業教育の生命線だと言って過言ではない。
- ・評価項目や基準設定の難しさを実感した。ただ、高校教員の信頼を得ることが第三者評価の最大目的なので学校の体を成していることを示す評価が先行すべきであるとの意見に賛同できる。
- ・やや期待はずれな部分もあったが、卒業生調査の意義はよく分かりました。

・事例による説明をもとに今後評価に対する取り組みを検討する流れが作られそうであり参考になりました。また、評価内容についての様々なお話は助かりました。

4. IT分野産学コンソーシアム成果発表

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	6	31.6%
まあまあ有意義だった	10	52.6%
どちらともいえない	3	15.8%
有意義ではなかった	0	0.0%
全く役に立たない	0	0.0%
計	19	100.0%



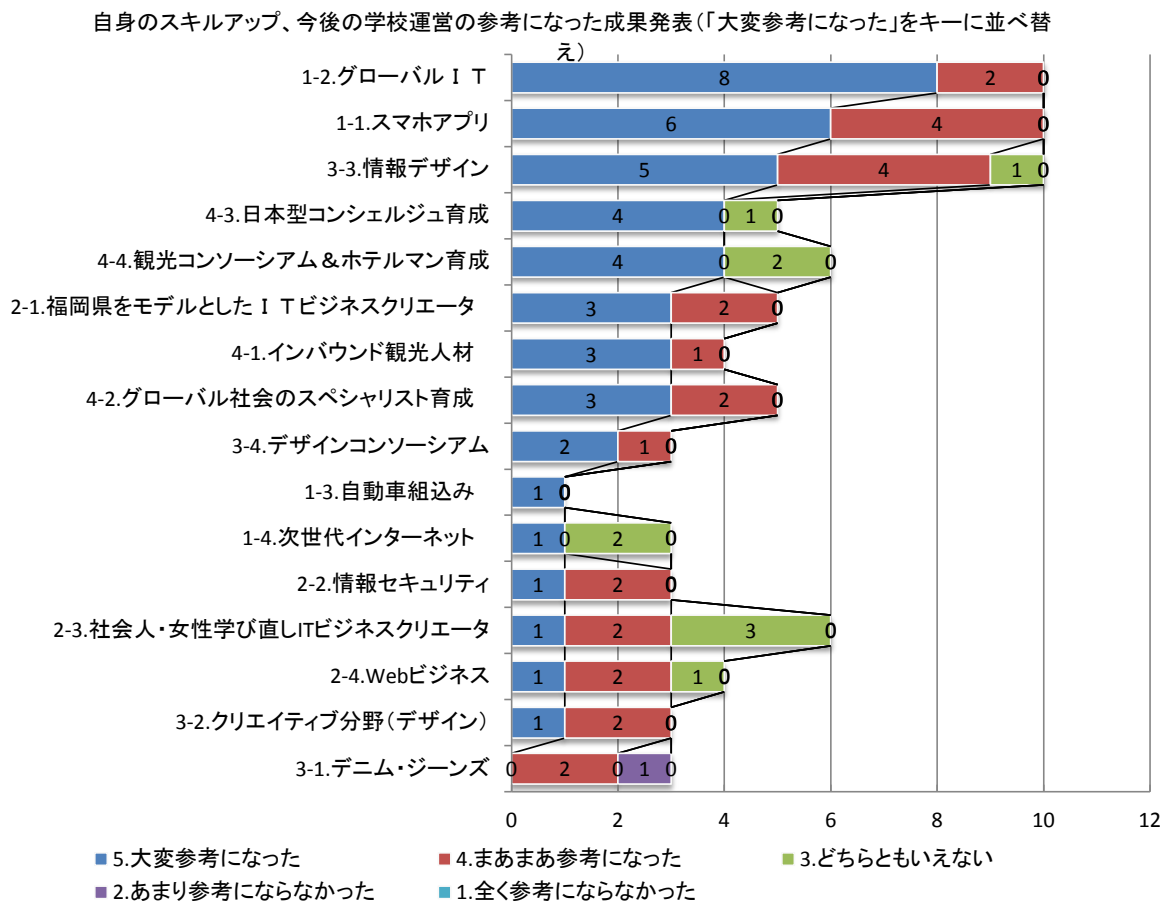
評価の理由:

- ・今後の専門学校におけるIT人材育成の方向性を考える上で大変参考になりました。
- ・聴講する上で基礎的な知識が不足していた。
- ・クリエイションの位置づけ
- ・参考になりました。
- ・IT分野の理想学生像について知ることができた。
- ・我々の問題に置き換えてみて有意義だった。
- ・IT資格、スキル等の整理ができました。□
- ・これからのIT人材育成について示唆の富む内容でした。
- ・自分の専門分野ではなかったためどちらともいえない。
- ・各校の取り組みに本当に頭が下がりました。

問2. 文部科学省プロジェクトの成果報告発表について

①自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表

(「大変参考になった」をキーに並べ替え)



(「大変参考になった」をキーに並べ替え)

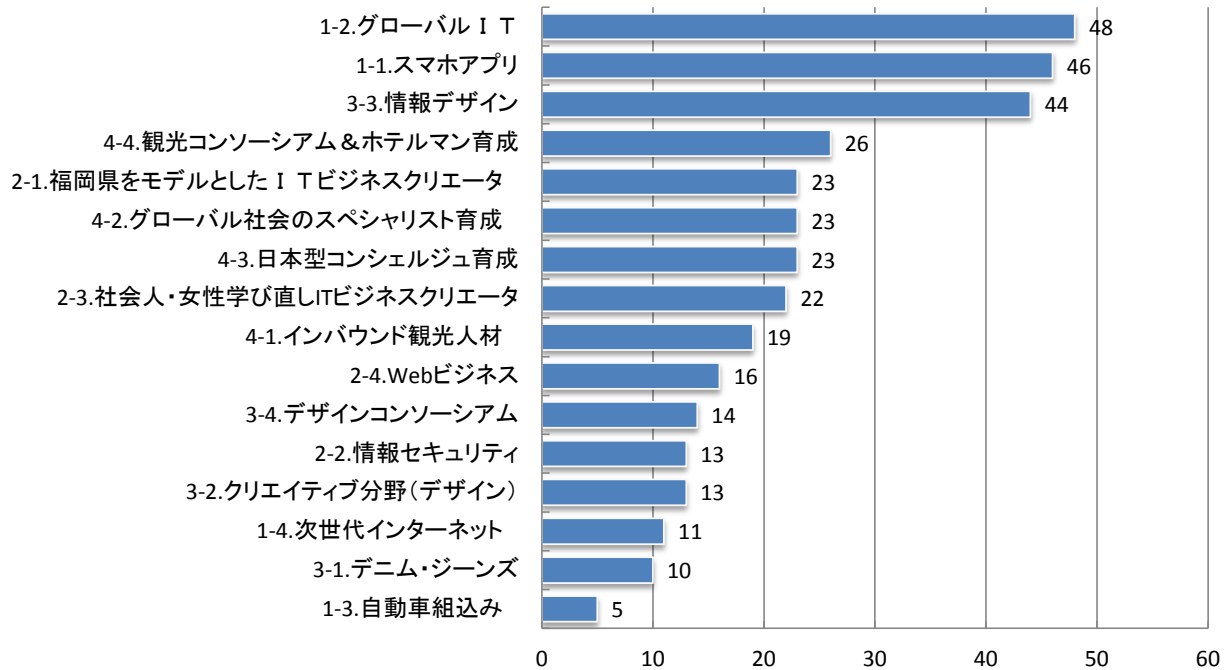
委託事業名	5.大変参考になった	4.まあまあ参考になった	3.どちらともいえない	2.あまり参考にならなかった	1.全く参考にならなかった
1-2.グローバルIT	8	2	0	0	0
1-1.スマホアプリ	6	4	0	0	0
3-3.情報デザイン	5	4	1	0	0
4-3.日本型コンシェルジュ育成	4	0	1	0	0
4-4.観光コンソーシアム&ホテルマン育成	4	0	2	0	0
2-1.福岡県をモデルとしたITビジネスクリエータ	3	2	0	0	0
4-1.インバウンド観光人材	3	1	0	0	0
4-2.グローバル社会のスペシャリスト育成	3	2	0	0	0
3-4.デザインコンソーシアム	2	1	0	0	0
1-3.自動車組込み	1	0	0	0	0
1-4.次世代インターネット	1	0	2	0	0
2-2.情報セキュリティ	1	2	0	0	0
2-3.社会人・女性学び直しITビジネスクリエータ	1	2	3	0	0
2-4.Webビジネス	1	2	1	0	0
3-2.クリエイティブ分野(デザイン)	1	2	0	0	0
3-1.デニム・ジーンズ	0	2	0	1	0

問2. 文部科学省プロジェクト成果報告発表について

①自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表

(順位をポイント化した総合順位)

自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表(順位をポイント化した総合順位)



(順位をポイント化した総合順位)

※ポイントとは→5.大変参考になった=5 4.まあまあ参考になった=4 3.どちらともいえない=3
2.あまり参考にならなかった=2 1.全く参考にならなかった=1

委託事業名	5.大変参考になった	4.まあまあ参考になった	3.どちらともいえない	2.あまり参考にならなかった	1.全く参考にならなかった	総合ポイント	総合順位
	(5p)	(4p)	(3p)	(2p)	(1p)		
1-2.グローバルIT	40	8	0	0	0	48	4
1-1.スマホアプリ	30	16	0	0	0	46	4
3-3.情報デザイン	25	16	3	0	0	44	7
4-4.観光コンソーシアム&ホテルマン育成	20	0	6	0	0	26	6
2-1.福岡県をモデルとしたITビジネスクリエータ	15	8	0	0	0	23	3
4-2.グローバル社会のスペシャリスト育成	15	8	0	0	0	23	6
4-3.日本型コンシェルジュ育成	20	0	3	0	0	23	2
2-3.社会人・女性学び直しITビジネスクリエータ	5	8	9	0	0	22	3
4-1.インバウンド観光人材	15	4	0	0	0	19	2
2-4.Webビジネス	5	8	3	0	0	16	9
3-4.デザインコンソーシアム	10	4	0	0	0	14	7
2-2.情報セキュリティ	5	8	0	0	0	13	8
3-2.クリエイティブ分野(デザイン)	5	8	0	0	0	13	9
1-4.次世代インターネット	5	0	6	0	0	11	8
3-1.デニム・ジーンズ	0	8	0	2	0	10	9
1-3.自動車組込み	5	0	0	0	0	5	3

②参考になった、印象が強かった理由:

■1-1.スマホアプリ

- ・新しい開発ツールを知ることができた。

■1-2.グローバルIT

- ・富山情報ビジネス専門学校様の取り組みは非常に実践的で開発プロジェクト自体のクオリティも高く大変参考になります。
- ・参加学生の客観的な成長度が示されている点は明確に伝わるものがあり、効果が目に見えとても参考になりました。
- ・社会人大学院で同様な試みをしたことがあります。その時、問題となったがコミュニケーションです。コミュニケーションを取ることが一番大切であることが発表を通してよく分かりました。
- ・留学生が増えてきており参考になった。

■1-3.自動車組込み

- ・そのまま授業に活用できる。

■2-1.福岡県をモデルとしたITビジネスクリエイター

- ・すでに時代的にはアジャイルの次、高速開発を具体的に見ているので時流をキャッチアップした内容(取り組み)であった。
- ・先進的な取り組み(視点)がとても良かった。

■2-2.情報セキュリティ

- 教材をダウンロードして教育に活かしたいと思います。

■3-2.クリエイティブ分野(デザイン)

- ・地域産業振興、企業ニーズカスタマイズに注力した色彩セミナー、トレーニングを専門学校で実施されていることに興味を持った。学生にフォーカスしがちなところ以外での視点。

■3-3.情報デザイン

- ・BMGの内容説明が良い。
- ・BMG、UXなど新しい概念が聞けた。

■3-4.デザインコンソーシアム

- ・クリエイティブ性を保ちつつ標準化していくには難しいと実感した。

■4-1.インバウンド観光人材

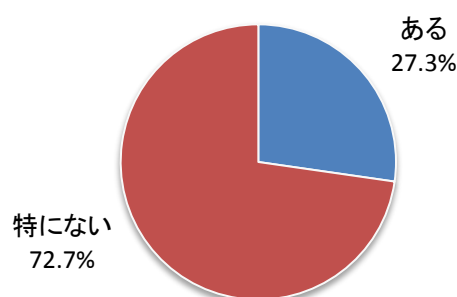
- ・今の事業を行う上で大変参考になる。
- ・産業としての観光・サービス業の重要度が益々増加していく背景の中、大変有意義な内容でした。
- ・地元横浜での取り組みということで親近感をもってお話を伺った。交流のチャンスを得たいと感じた。

■4-3.日本型コンシェルジュ育成

- ・日本各地のすばらしい宿泊先について紹介されていたが、コンソーシアムでの知見をいかに広げていくのか分かりにくかった。
- ・コンピテンシーディクショナリーは具体的で勉強になりました。
- ・今の事業を行う上で大変参考になる。

問3. 今後、文部科学省プロジェクト等で取り組みたい事業やテーマ

NO	回答	回答数	%
1	ある	3	33.3%
2	特にない	8	66.7%



具体的な内容:

- ・ビッグデータ
- ・情報セキュリティ関連の人材育成についてベース(包括的)人材もさることながら、細分化したスキルを持つ人材加えて非IT分野での情報セキュリティを担う人材の育成について
- ・情報処理科、モバイルアプリ開発コースの教員であるので、スマホ、タブレットそして最近のウェアブルデバイスを取り入れたコース開発などしたいです。
- ・今はありませんが、学校に戻り考えてみたいと思います。

本会からの情報提供や連携校の紹介などのご希望がありましたら具体的にお知らせください。

- ・IPAのCCFSやASEANのスキル標準の動向

問4. 御校で課題となっている事項やお悩みの点、希望する研修テーマなど

- ・職業実践認定後の学科改編
- ・職業実践専門課程に申請について(企業連携が難しい課題となっている。県が厳しい)
- ・エステ、ヘアメイクの先生達に別の会合ではお目にかかれても、この場では連携が中々とれないところもあるが、足元をしっかり固めていかないと、と感じている。
- ・今回は職業実践という現在の取り組みはじめた事項についてより理解することができました。初日しか参加することができずに残念でした。本日はありがとうございました。
- ・教員の実務的研修に関しての取り組みかたや研修先の開拓。
- ・研修テーマではないのですが、話題になっている大学改革や職業大学などの今後の動向予測や可能性、そのための要件などの話があっても良かったと思います。
- ・文科省の白鳥氏より話がありましたが、新規事業「安心して学べる環境」について苦学生の援助方法及び学校への負担減などもう少し検討してほしい。
- ・発達障害をはじめとする特別な支援を必要とする学生への対応、支援について
- ・情報系分野の志望者の減少について(社会へのアピールについて)
- ・私自身、「国際交流センター」に所属しており、グローバル化に対応できる人材を育成する必要性を感じております。できるだけ広い分野の学生に語学への興味を持ってもらうにはどうすればよいかを常に考えております。

以上